

札幌市立稲穂小学校

「令和8年度 全国学力・学習状況調査」の結果について

4月23日に、全国学力・学習状況調査（調査科目：国語・算数）が6年生を対象に全国で実施されました。すでに都道府県や札幌市の結果が公表され、調査を受けた6年生には個人票を渡しました。

本校の結果につきましても、結果と改善の方向がまとまりましたので、公表いたします。なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることを御理解願います。

< 国語 >

本校の概要

【知識及び技能】

◆「言葉の特徴や使いに関する事項」の平均正答率
⇒全国平均を下回っている。

◆「情報の扱いに関する事項」の平均正答率
⇒全国平均を下回っている。

【思考力、判断力、表現力等】
◆「話すこと・聞くこと」の平均正答率
⇒全国平均を下回っている。

◆「書くこと」の平均正答率
⇒全国平均を下回っている。

◆「読むこと」の平均正答率
⇒全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている

今回の調査における課題

「言葉の特徴や使いに関する事項」

- 比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと

「情報の扱いに関する事項」

- 考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解すること

「話すこと・聞くこと」

- 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること

「書くこと」

- 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること
- 引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること

改善の方向

「言葉の特徴や使いに関する事項」

- 実際に話したり聞いたりする中で触れてきた、比喩や反復・倒置などの表現の工夫についてまとめて整理する学習活動を意図的に取り込む。

「情報の扱いに関する事項」

- 文章や資料を読む際に、「筆者の考え」「その理由」「具体例」に線を引いたり、図や表に整理したりしながらを整理する学習活動の充実を図る。

「話すこと・聞くこと」

- 文章を引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように理由や事例をあげ、表現の仕方を相互評価する学習活動の充実を図る。

「書くこと」

- 「はじめ・中・終わり」や「考え・理由・具体例」など、文章全体の構成を考えたり、メモを活用し、「順序やつながりが分かりやすいか」を見直す学習活動の充実を図る。
- 引用する目的を明確にし、原文を正確に引用したり、引用した部分と自分の考えとの関係を明確にして、区別しながら書き表したりする学習活動に積極的に取り組む。

< 算数 >

本校の概要

【学習指導要領の領域】

□「数と計算」の

平均正答率

⇒全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている

□「図形」の

平均正答率

⇒全国平均を下回っている

□「測定」の

平均正答率

⇒全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている

□「変化と関係」の

平均正答率

⇒全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている

□「データの活用」の

平均正答率

⇒全国平均を下回っている

今回の調査における課題

「図形」

●直方体の箱の形を構成する面について理解すること

●体積の意味について理解すること

「データの活用」

●示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めること

●2つの観点を組み合わせた表から、条件に合う数を読み取ること

●帯グラフの特徴と使い方を理解し、およその割合を読み取ること

「数と計算」「図形」「データの活用」

●日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述すること

改善の方向

「図形」

○立体を具体的にイメージできるよう実物の立体模型を観察・操作する活動を大切に、展開図を組み立てたり、面の形や位置を確かめたりする学習活動を充実させる。

○1cm³の立方体を実際に並べるなどの操作活動を通して、体積の単位や「たて×横×高さ」の意味を理解する体験的な学習活動を工夫する。

「データの活用」

○複数の表や資料を比較し、数量の関係や違いに着目するとともに、数値を根拠として自分の考えを発表する学習活動を多く取り入れる。

○2つの観点が組み合わさった表について、両方の条件に着目し、「どの条件に当てはまるか」を言葉で確認しながら、表の見方を意識した学習活動の充実を図る。

○帯グラフと割合の関係を具体的な資料や生活場面と結び付けて指導し、グラフから「全体のどのくらいか」をおよそ捉えたり、複数の資料を比較したりする学習活動の充実を図る。

「数と計算」「図形」「データの活用」

○日常生活の問題を題材に、図形の辺の長さや数量の関係を図に描き込みながら考える活動を通して、「何を求めるのか」「どの数量を使うのか」「なぜその式になるのか」を、式だけでなく言葉や図を用いて説明する場面を多く設定していく。

～児童質問紙調査の結果から～

テスト内容のこと、学習意欲や学習環境、生活の様子について、質問を実施しています。その結果から、本校のいくつかの項目について、全国の結果と比べながらお知らせします。

生活面

○全国平均と比べ肯定的回答の割合が高いもの

- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る
- ・毎日、同じくらいに起きる
- ・学校の勉強のことについて家族とよく話す
- ・学校の悩んでいることについて家族とよく話す
- ・学校図書館をよく利用する
- ・地域や社会をよくするために何かをしたい

●全国平均と比べ肯定的な回答の割合が低いもの

- ・毎日朝食を食べている
- ・テレビやスマホ等で SNS や動画を 1 日 2 時間以内にしている。
- ・友達関係に満足している
- ・平日、1 時間以上勉強している
- ・土日、1 時間以上勉強している

生活面の成果・課題

「毎日同じくらいの時刻に寝る・起きる」「学校の勉強や悩みについて家族とよく話す」の割合が高く、生活リズムの定着や家庭とのコミュニケーションが良好であることがうかがえます。また、学校図書館の利用や地域・社会への参画意識も高く、読書活動の積極的な推進や地域社会への参画の関心が育っています。

一方、「毎日朝食を食べている」「SNS や動画の利用が 1 日 2 時間以内」「平日・土日ともに 1 時間以上勉強している」の割合が低く、基本的な生活習慣、メディア利用、家庭学習の習慣化に課題が見られます。また、友達関係への満足度も低いことから、安心して過ごせる人間関係づくりも必要であると考えます。

今後の取組

家庭と連携し、朝食やメディア利用を含めた生活習慣と家庭学習の定着を図ります。また、学級活動や縦割り活動、児童会活動などを通して、互いを認め合い、安心して過ごせる人間関係づくりを進めます。

学習面

○全国平均と比べ肯定的回答の割合が高いもの

- ・先生は自分の良いところを認めてくれる
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しい
- ・授業でタブレットをほぼ毎日利用する
- ・タブレットでプレゼンテーションを作成できる
- ・授業で学んだことを生かして自分の考えをまとめる活動をしている
- ・学習して、分かったことよく分からなかった点を見直して次の学習につなげている
- ・国語で学んだことを次の学習や生活に結び付けて生かしている
- ・国語の学習が得意
- ・国語で学習したことは社会に出たとき役に立つと思う
- ・国語の学習では文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめた

○全国平均と比べ肯定的な回答の割合が低いもの

- ・先生は授業やテストで間違ったところ、理解していないところを分かるまで教えてくれる
- ・国語の授業で、先生は、学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれる。
- ・算数の勉強が得意である。
- ・英語の勉強が好きである

学習面の成果・課題

「先生は自分のよいところを認めてくれる」の肯定的回答が高く、安心して学習できる環境が整っていると感じています。また、異なる意見について考えること、学習内容を生かして考えをまとめること、学びを振り返ることへの肯定的回答も高く、主体的・対話的に学ぶ姿勢も育っていると考えます。

ICTについても、タブレットの活用やプレゼンテーション作成が定着しています。特に国語では、学習内容を生活に生かしたり、文章を基に自分の考えをまとめたりする意識が高く、言語活動を通して学びを深めるめようとする意識が育ってきています。

一方、学習のつまずきや改善点について、児童が十分な支援を実感できていない面があります。また、算数や外国語に苦手意識のある児童もいることから、一人一人の理解状況に応じた指導と、成功体験の積み重ねを実感できる授業づくりが重要と感じています。児童と教師との信頼関係を更に深め、考えをまとめ・表現する学習、ICTの活用を生かしながら、個別の支援を更に充実し、児童の学習意欲の向上に努めていきたいと考えます。

今後の取組

児童一人一人の学習状況を丁寧に把握し、つまずきや改善点に応じた指導・支援の充実を図ることで、算数や外国語における基礎・基本の定着と、学び合いやICTを効果的に取り入れて、「分かった」「できた」という成功体験につなげたいと考えます。また、国語の「考えをまとめ、表現する力」を伸ばし、それを他教科にも広げ、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業改善に取り組んでいきます。